

平和新聞

(毎月 5,15,25 日発行)
1950 年 12 月 16 日第三種郵便物認可
1 部 140 円
月額 400 円 (郵送料月額 120 円)

高知県版

2008 年 6 月 5 日
No.26
高知県平和委員会
〒780-0850 高知市丸ノ内 2-1-10
/fax 088-823-8334
E-mail kheiwa@hotmail.com

発行：日本平和委員会
〒105-0014
東京都港区芝 1-4-9 平和会館
電話 03 (3451) 6377
FAX03 (3451) 6277
振替 00100-4-83731
E-mail(編集部)heishin@j-peace.org
<http://j-peace.org>

高知県西部平和委員会結成！

軍港と漁業両立しない

イービス艦寄港に反対して

宿毛湾港へのイービス艦

寄港を前にした5月15日

夜、宿毛市で「高知県西部

平和委員会」の結成会が行

われ、宿毛市や四万十市な

どから26名が参加しまし

た。また、隣の愛媛県宇和

島平和委員会からも共に活

動していききたいと3名がか

けつけました。

一昨年の同港へのイージ

ス艦寄港から2度目で米空

母の寄港地として恒常的に

利用されていくのではない

かという懸念から、平和委

員会をつくり行動していこ

うと結成することとなりま

した。

この日6名が入会し、1

6名の組織としてスタート

させました。代表理事には

黒潮町の奈路広さん、事務

局長に宿毛市の山下正寿さ

んを選出しました。

翌日には宿毛市と知事室

を訪問して、寄港撤回や寄

港した場合の環境調査など

を求める申し入れを行いま

した。

軍港となれば宿毛だけの

問題では済みません。「平和

で自然豊かな漁港を軍事の

ために使わせない」という

同会の皆さんと全県が一緒

になって学び行動していき

ましょう。



米イージス艦「オカーン」

宿毛港へ

5月21～26日、イー

ジス艦「オカーン」が宿毛
湾港に寄港しました。

21日午前、入港後すぐ
に港の公園で開いた抗議集
会には200人以上が参加
しました。

平和委員会、宇和島平和
委員会、平和運動センター、
佐世保平和委員会の平和団
体から発言があり、続いて
政党からは社民党、共産党、
民主党、新社会党の代表が
発言しました。発言の中で
は、2度目の寄港というこ
とで母港化、軍港化への懸
念や核兵器搭載の証明のな
いままの入港への怒り、ア
フガン・イラク戦争に従事
した軍艦は受け入れられな

い、非核三原則と県の非核

港湾条例を遵守すべきなど
様々な面からイージス艦寄
港に反対を表明しました。

集会の最後に、アメリカ
大統領、「オカーン」艦長、
宿毛市長あての抗議文を採
択し、集会後は、港の正面
入り口までデモ行進をし、
「軍艦帰れ」「戦争やめろ」
などとシュプレヒコールを
行いました。



県西部平和委員会

緊急学習会開催



抗議集会で発言する山下千秋さん

21日、イージス艦入港
の抗議集会後、近くの公民
館で緊急の学習会が開催さ
れました。(県西部平和委員
会主催)

学習会の講師には、長崎
県佐世保平和委員会の代表
である山下千秋さんを迎え
ました。山下さんは、宿毛
への2度目の寄港に「ただ
ならないこと。佐世保がい

まどうなっているか、現実
を受け止めてほしい。」と、
パワーポイントを使い軍港
佐世保の歴史から現状、米
軍再編の実態などを詳しく
説明しました。



高知市内でも集会開く

16日夕方、平和団体共
催で緊急集会を開催し、3
00人が集まりました。

また、県平和委員会は外
務大臣、知事、宿毛市長に
対して寄港拒否のFAXを
送りました。土佐市平和委
員会は、20日に知事、宿
毛市長に対して抗議FAX
を送っています。

憲法記念日集会で

水島朝穂教授が講演

5月3日高知憲法会議の主催で、「輝け日本国憲法！ 5・3県民のつどい」が高知市で開かれ、約450人が参加しました。

第1部は「ともに謳おう希望のうた 人間のうた」と題する高知センター合唱団のステージでした。合唱「新しい憲法のはなし」「人間のうた」、太鼓、うた、ダンスなど多彩なプログラムで聴衆を魅了しました。

第2部では早稲田大学の水島朝穂教授が「憲法とは何かを改めて問うー日本国憲法施行六十一年の日に土佐からー」の演題で講演しました。水島教授は「憲法を守る義務があるのは権力

者であり、多数決でも侵し

てはならない決まりが憲法だ。憲法九十九条の憲法尊重義務の中に国民は含まれていない」と述べ、「私達は不断の努力で自由と権利を守らなければならぬ」と強調しました。

「マッカーサー草案」が参考にしたとされる鈴木安蔵らの「憲法研究会草案」は植木枝盛の「東洋大日本国憲案」を参考にして起草されていること、高知市自由民権記念館の展示にある「植木枝盛の憲法草案と大日本帝国憲法、日本国憲法、三者の比較対照表」に係わって、植木国憲案には死刑廃止条項など、日本国憲法をも突き抜けたその先進性について詳しく説明し

ました。

また「名古屋高裁のイラク派遣違憲判決は、平和的生存権を権利として認めた点でも画期的な判決である」と述べ、「憲法九条はアジア民衆に対する国際公約であること」などから、「非軍事に徹した国際貢献のあり方を議論すること」を提起しました。

水島教授は「植木枝盛が生れ、国憲案を書いたこの土佐から、憲法の精神を擁護し発展させる運動がさらに広がることを期待します」と結び、参加者からは、土佐と憲法との関係や憲法の意味が良くわかったと好評でした。



和歌山県平和委・来高

青年と交流会

5月17・18日、和歌山県平和委員会10名が来高し、南国市のえんたい壕や自由民権記念館を見学されました。

17日夜には、県平和委員会と青年が参加し活動交流を行いました。特に和歌山県平和委員会からは、青年の参加をどのように進めていけばいいかという悩みが出され、高知県の取り組みを紹介しながら、一緒に考えました。「事務局など中心に青年を参加させること、青年が集える場を作ること」が重要ではないかという話が出ました。

その後、お酒も酌み交わしながら交流を深めました。

学習会 「米軍基地再編・高知県の軍事化の危険」

と き：6月18日(水)夜7時～

と ころ：高知市自由民権記念館ホール

講 師：小泉親司さん

日本共産党中央委員会基地対策責任者、元参議院議員

主 催：日本共産党高知県委員会・「日本共産党と緑心会」県議団

* 入場無料！

5月21日、宿毛港に2年前に続いて米イージス艦が入港。今全国で進められる在日米軍基地の再編強化。その中で神奈川県厚木基地の空母艦載機57機が岩国基地に配備される計画もあり四国への影響も危惧されます。また香南市香我美町への自衛隊基地新設。

今日の米軍基地再編問題は怎么样了のか？高知県への影響は？ぜひご参加ください。

* 幡多地域でも開催決定！！

6月19日(木)18:30～ 四万十市文化センター(四万十市桜町)



編集後記 平和行進が始まりました。今年も、四国コースの通し行進者竹田さんが参加。行進とあわせてお遍路参りも。平和を訴えて歩くお遍路さんは8月4日の広島までがんばります。(ま)

会員の皆様へ

6月末に、埼玉県で「日本平和委員会第58回定期全国大会」が開催されます。県平和委員会より和田・松繁が参加します。

先月、県西部平和委員会が結成され仲間も増えました。この機会に周りの方にも入会を呼びかけていきましょう。

会費：月 300 円

平和新聞：月 400 円(送料 120 円)

平和運動誌：月 250 円(送料 60 円)

* 皆さんの活動の様子や日頃感じていらっしゃることなど事務局までお寄せください。

* 今月 6 月末が会費等納入月です。早めの納入をよろしくお願いいたします。